

会 議 録

会議の名称	平成23年度第3回行田市地域公共交通会議
開催日時	平成24年1月26日(木) 開会：午後2時・閉会：午後3時45分
開催場所	行田市産業文化会館 2階第2会議室
出席者(委員)氏名	森康彦委員(代理：菊地氏)、鈴木貴大委員、長島豊委員、新井友一委員(代理：江守氏)、新井忠晴委員、鶴岡洋委員(代理：金川氏)、高原昭委員、平野克行委員、内田愛三郎委員、池田豊委員、橘井公治委員、大谷勉委員、小高巖委員(代理：浅見氏)、金子浩之委員、田尻要委員、小河原勝美総合政策部長、小林茂市民生活部長、河野恭男環境経済部長、岡田真彦健康福祉部長
欠席者(委員)氏名	山崎明弘副市長、久保田和市委員、新井敏夫建設部長
事務局	生活課：浪江課長、菅原主幹、吉田主査、嶋田主事
会議内容	司会 浪江生活課長 議事 (1) 市内循環バス運行実績報告について (2) 市内循環バス利用状況調査について ①調査結果の詳細説明 ②課題と方向性 (3) 平成24年度の市内循環バスの運行について (4) その他
会議資料	(資料名・概要等) ○行田市地域公共交通会議委員名簿 ○平成23年度第3回行田市地域公共交通会議 座席表 ○平成22年度行田市市内循環バス路線収支率及び1人当たりの運行経費【資料1-1】

	<ul style="list-style-type: none"> ○行田市市内循環バス乗車人数推移【資料1-2】 ○市内循環バス利用状況調査結果【資料2-1】 ○市内循環バス利用状況調査路線別結果一覧表【資料2-2】 ○市内循環バスと電車での乗継活用例【資料2-3】 ○デマンド交通 県内の導入事例【資料2-4】 ○路線延伸及び停留所設置要望箇所位置図【資料3-1】
<p>その他必要 事項</p>	<p>傍聴者 4名</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会 会長職務代理者 議 長	1 開会 2 会長職務代理者あいさつ 3 議事 ・ 会議公開の確認 ・ 傍聴人の確認
事務局	・ 4名傍聴希望あり。 傍聴人の入室
議 長 事務局	・ 議事に入らせていただく。 ・ 議事（１）「市内循環バス運行実績報告について」、事務局から説明をお願いします。
議 長	<資料１－１「平成２２年度行田市市内循環バス路線収支率及び１人当たりの運行経費」 資料１－２「行田市市内循環バス乗車人数推移」に基づき説明>
議 長 事務局	・ 事務局より説明があったが、質問や意見等があればお願いします。 ・ よろしいか。 ・ 次に、議事（２）「市内循環バス利用状況調査について」の「①調査結果の詳細説明」について事務局から説明をお願いします。
事務局	<資料２－１「市内循環バス利用状況調査結果」 資料２－２「市内循環バス利用状況調査路線別結果一覧表」に基づき説明>
議 長 委 員	・ 事務局より説明があったが、質問や意見等があればお願いします。 ・ ３ページの間８の路線別利用年代で各路線の回答数と合計が合わないのはなぜか。
事務局 委 員	・ 回答の重複等により合計が合わなくなっているものである。 ・ 市内循環バスの本来の目的として、交通弱者等の交通手段の確保があると思うが、免許を持っていない、あるいは持っているが返納したと回答している人が４００人以上いる。その人達の利用

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>についての分析はしていないのか。また、日中独居や高齢者世帯等に絞っての分析は行っていないのか。免許証を持っていない人の分析は可能だと思うがどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電車と路線バスが大きな役割を果たしている行田市の特性の中で、マイカーで生活交通を賄っている市民が多く、その人達がどの程度市内循環バスを利用しているのかという着眼点から、今日の資料では、免許証所有の有無についての項目が多くなっている。アンケートでは、単身、2世帯、3世代同居といった内容でも、回答を得ているので分析は可能である。次に説明する資料2-2の中で補足説明ができると思う。
議 長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回数値としては、無いということによいか。 ・ 今、数値で示せるものは手元にないが、今後、更に分析をしていきたい。 ・ 資料2-2の色々な方の意見報告の中で、具体的な内容の話をさせていただく。
議 長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次に、議事（2）「市内循環バス利用状況調査について」の「②課題と方向性」について事務局から説明をお願いします。 <p>＜資料2-2「市内循環バス利用状況調査路線別結果一覧表」 資料2-3「市内循環バスと電車での乗継活用例」 に基づき説明＞</p>
議 長 委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より説明があったが、質問や意見等があればお願いします。 ・ 共通意見にタクシー補助券の配布という意見があるが、それは助成事業に発展するような検討課題になるのか。また、デマンド交通以外に、乗り合いタクシーの導入といったことも意見として挙がっているのが、検討課題になるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ タクシーチケットについては、福祉施策あるいはバスで対応できない交通手段の確保かということかで所管が変わってくるが、今後の検討課題ではある。今回のアンケートではバスに乗

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	<p>っている人、乗っていない人、幅広い年代層から経費等のことも含めて予約制で運行したらどうかとの意見が多数寄せられている。これについて、バスで担えるサービスかどうかこの場で検討をお願いしたい。行田の交通体系は鉄道とバスという骨格の交通機関が幹となり、市内循環バスはそれに延びていく枝の部分と考える。市民から寄せられている個々のニーズ、小規模な人数への対応との要望も多かった。これについては葉の部分として整理したい。交通体系の枝の部分はこの地域公共交通会議で議論していきたいと考えている。バスで対応できないニーズについて、予約制という意見を多数の市民が持っていることが今回の調査で判明したので、今後検討していく。なお、近隣のデマンド交通の状況については、資料２－４で説明させていただきたい。</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通の近隣の導入状況について、事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>＜資料２－４「デマンド交通 県内の導入事例」 に基づき説明＞</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局より参考事例ということで近隣のデマンド交通の導入事例について説明があったが、資料２－１から２－４までの中で質問や意見等があればお願いします。 ・路線別の意見は利用している人の意見だと思う。これに対し、路線共通の意見は利用している人、していない人からの意見が記載されている。調査結果の意見をもとに、今後の市内循環バスの方向性を検討したいと思う。事務局から補足はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・バスで担えるサービスについては、バス事業者の協力を得ながら引き続き利用者の拡大を図っていく。バスで担えないサービスについての検討は、今、議長に整理していただいたとおりである。市内循環バスが市民にとって行田市のインフラであると

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
<p>議 長 委 員</p> <p>事務局</p> <p>議 長 委 員</p>	<p>いう意識がアンケート結果からは薄く感じられる。行田市の特徴の特性を考えると、市民にとって必要な交通手段であり、さらに利用の促進をしていかないと市民の理解が得られないと考えている。来年度は、地域で対話集会のようなものを設けて、市民と市内循環バスについての意見交換をしながら、市民の理解を深めていくことを考えている。また、地域の人々に乗っていただけるバスにしていきたいと考えており、事務局として努力していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の調査に対し、ご協力を頂いた田尻委員から何かあるか。 ・ 私どもの研究室で集計、分析作業を行った。分析を進める中で、やはりインフラとしての意識が低いと感じた。利用する人、利用しない人も他人事という感じである。わがまちのバスを何とかしなければという意識が希薄に感じた。バスの時刻表が各家庭に配布されているにもかかわらず、市内循環バスのこと知らない人が結構いるということは、PR不足であり改善の余地があると感じた。今後は調査結果を基にどのように取り組んでいけばいいかを提案していければと思う。 ・ 前回会議の際にも出たが、循環バスを浸透させるのは行政主導より市民主導で行ったほうが、市民が自分達で行っているという意識が出てきてよりよいバスになり、乗客が増えるのではないかと意見をいただいた。今回の調査結果を見て、行政のPR不足と感じた。行政も今後循環バスについて、市民に理解してもらえよう努めていきたい。 ・ 他に何かあればお願いする。 ・ 路線の見直しは1年ごとに行うということでよいか。加須市は直通ルートを設定して、枝は小型車でデマンド方式にするということで路線の再編を検討している。鶴ヶ島市は、1年前に路線の見直しを行い、直線ルートを設定して、枝の部分は、乗り

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
<p data-bbox="220 725 323 763">委 員</p> <p data-bbox="220 1028 323 1066">事務局</p> <p data-bbox="220 1818 323 1856">委 員</p>	<p data-bbox="461 300 1437 701"> 合いタクシーにした。効率非効率の問題も有るが、バスへの税金投入は無駄という意見からそのような方式にした。さいたま市は、一昨年、岩槻駅から10キロまでを9人乗りのワゴン車で運行する実証実験を3ヶ月行い、更に昨年12月から1年間、実験で乗り合いタクシーを導入している。タクシーはドア to ドアの利便性の高い交通機関であることから、効率化や利用増へ向けて知恵を出して活用していただきたい。 </p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="461 725 1437 1003"> <p>・ 東循環コースについては、地域の住民は吹上駅、北鴻巣駅へ向かうため通勤通学利用がほとんどない。また、買い物は旧吹上町や鴻巣市へ行くのが実情だと思う。一方、市内の病院への通院の足が大変である。提案だが、東循環コースについてはやめて、その費用でデマンド交通を行い、効果を見たらどうか。</p> <li data-bbox="461 1028 1437 1794"> <p>・ 循環バスは交通政策であるため、1年運行して利用が少ないからすぐ変えるというのは、政策の性質上なじまないと考えている。路線の見直しは行うが6路線で5年間は行っていく。今回のアンケートでも浮き彫りになったPR不足も含め、まずは6路線の利用を推進していく。ただ、5年経過後に次の手だてを考えるのでは遅いため、本日、委員の皆様の問題提起をした。また、市民の声を聞いていく中で、次のステップを整えていきたい。先ほど委員から先進事例を紹介いただいたが、先進事例の市では意見を取り入れて、市民が主体的となってバスについて考えている。行田市においても地域の要望を地域住民の中で考えていくという方法をとりたい。事業者の協力のもと、安全、安心で運行している循環バスをどのように次のステップに進めるか、来年度以降引き続き検討していきたい。</p> <li data-bbox="461 1818 1437 1975"> <p>・ 資料2-1の5「循環バスの利用の有無」で利用が低いという結果が出ていることを認識していただきたい。利用を促進していく、増やしていくということは、やりすぎると民間を圧迫す</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>ることになるとということも配慮いただきたい。アンケート結果の共通意見の最後に、「単に通勤者が安いからと言って利用するのでは、制度そのものに反対します」との意見もでていることも考慮していただき、利用目的の中でどの部分を循環バスで対応していくのかを鮮明にし、他の民間交通機関と競合しながらやっていく体制を忘れずにいていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の公共交通機関との連携については、行田市の地域性があり、ベストミックスでないと市民の満足度、納得感は得られないと思う。市としては人口減少という大きな問題を抱えながらまちづくりについて考えており、公共交通は大きなウェイトだと思っている。その中で、タクシー、鉄道、路線バス、循環バスあるいは新しい方法の予約制等の小型車両によるもので、何がベストミックスかが大事だと思っている。今後、協議を詰めていきたいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を見ると60歳代以上の利用が非常に多い。高齢者に対して市の対応は福祉関係、バス関係とも非常に親切だと思う。高齢者にもっとバスをPRしてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の調査で市民の地区別ライフスタイルが見えてきた。委員から話があったが、東部の人の通勤通学には循環バスは合っていない。しかしながら、乗り継いで公共施設利用や南大通り線まで別の方法で来て循環バスを利用するといった、実態があることがわかった。そういったこととさまざまな交通手段とを組み合わせた未利用のPRを地道にやっていきたいと思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2-1の1を計算すると、免許証の返納者がアンケート回答者の13%になっている。県南の事業者から話を聞くと、県南ではものすごい勢いでマイカーを手放しているようで、特に東日本大震災以降が著しいようだ。理由としては、景気、ガソ

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	<p>リンの高騰、高齢化があると思う。13%については、今後さらに増えていくと思う。免許を持っていない、あるいは持っているけど返納した人が交通弱者に当たると考える。循環バスを街のインフラと捉えていないという発言があったがそのとおりだと思う。アンケートで今は使わないけどいつかは使うとの意見が率直な意見だと思う。また、高齢者の利用が多いとあったが、免許を返納するほとんどが65歳以上である。アンケート結果では60歳、70歳という分け方で65歳という年齢がないが、手元にデータがあるのであればデータを区別するということだと思う。北西循環、北東循環、東循環では半数が70歳代以上で、自動車を運転することがない人となっている。「便利になったか」との問いでは、「どちらとも言えない」が一番多く、これは関心がないということを表していると思う。問題点の「運行概要をよく知らないから」は、知ることが出来ないからと読み取れると思う。また、デマンド交通については、ヨーロッパでは盛況になっていると聞いたことがある。ヨーロッパと日本で違うところは、日本は万遍なく住宅が点在しているがヨーロッパは住宅地域、商業地域等が地域ごとに密集していて、あとは農業地域になっている。そのためデマンドが成り立つということを以前訪れた時にバス事業者から聞いたことがある。まちの成り立ちを変えることは出来ないが、日本でのデマンド交通について考えたとき、要求した時に迎えにきてくれるとはいえ普通は1時間前までに事前の予約が必要、しかも来るまでに30分かかる。そう考えると、便数が少ないと言われている循環バスで1時間待つのと変わらないということを感じた。ワゴン車で運行しているところでは、老人施設等があるところだと人があふれていると聞いた。そういう点も考えると日本ではデマンド交通は難しいと感じた。先ほど、地域交通は幹と枝で考え</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>なければならぬと話があったが、そのとおりだと思う。バスとタクシー、デマンド交通でもいいが、うまく掛け合わせることが必要であるとアンケート結果と近隣のデマンド交通の導入状況を見て感じた。フリー回答の中に廃止すべきとの声もあるが、高校生は学区制が廃止されて以降、どこの高校でも行けるようになり、バスがあるから高校を選んだ学生も少なからずおり、それにより教育の範囲が広がって、より自分のレベルに合わせた学校に行けるようになった学生がいると思う。それがあまり乗ってないから廃止とした場合、今後の高校生活をどうするのかというのも充分考えなくてはならないと思う。また、通勤通学に使える南大通り線のバスがあるから家を買ったという人もいないのではないか。そういう人の生活はどうなるのかと考えるべきだ。7,700万円の税金投入は無駄との考えもあるだろうが、そういうことも含めて公共交通は考えていくべきと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車両を小型化し8人以内での乗車を想定した場合、乗車人数が少ないとの声がある、東循環、北東循環、観光循環、西循環で8人以上の乗車実績がどの程度あるか調べてみた。結果は、東循環8回、北東循環55回、観光循環64回、西循環102回であった。走っているバスを見ると少人数しか乗っていないようであっても、実績からはそのような需要があるということがいえる。報告では、簡単に割り戻して延べ人数でいっているが、実は8人以上乗っているとといった実態がある。また、話に出たコンパクトシティという概念は、重要なキーワードである。今後、環境への配慮から公共交通機関への乗り換えを考えてもらいたいということも含めて市民には理解をしてもらう工夫をしたいと思っている。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ デマンドは自宅あるいは町内どこからでも乗れるドア to ドアの

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
議 長	<p>サービスであることから、交通弱者等の社会参加を考えれば、停留所まで行って乗り降りするバスよりも利点があると考え</p> <p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査結果と委員からの意見を基に、出来るものからと考えていく。 ・ 他になにかあるか。 ・ 次に議事（３）「平成２４年度の市内循環バスの運行について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p><資料３－１「路線延伸及び停留所設置要望箇所位置図」に基づき説明></p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より説明があったが、質問や意見等があればお願いします。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泉小学校の歩道橋は架け替え工事の予定があるので、確認をお願いします。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダイヤの変更はあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダイヤの変更については、４月以降は考えていない。今のものを市民により分かりやすく伝えていくつもりである。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他に何かあるか。 ・ 議事（４）「その他」について、何かあるか。 ・ なければ、以上で議事を終了させていただく。 ・ 以上で議長の職を解かせていただく。
傍聴人退室	傍聴人退室
司 会	4 閉会